

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2 単位	卒業研究 I	小林 俊哉	2 年次	春

授業のキーワード	マスメディア、メディアリテラシー、新聞、問題解決
授業の概要	新聞の実情、可能性、問題点や課題など、マスコミ全体についての目配りもしながら、研究論文を完成させます。
期待される学習成果（目標）	1. 新聞を始めとする多くのマスメディアの、賢い活用方法がわかる。 2. マスメディアに登場するさまざまニュースの背景やそこに内在する問題を理解できる。 3. 論理的、合理的な思考法が可能になる。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	オリエンテーション	基本的なゼミの運営方法を確認します。	第9講	問題解決のしくみ	「問題解決」とは何か。その基本について学びます
第2講	ゼミとは何か	そもそも大学におけるゼミとは何か。なにを目的にするのか。どのようなことを学べるのかなどについて概観します。	第10講	問題解決のしくみ(その2)	「問題解決」をするための、「問題」の設定方法について学びます。また期末課題について説明します。
第3講	ゼミとは何か(その2) メディアとは何か	前項に引き続きゼミの基本を学びます。また自分のメディアの関心事についても語り合います。	第11講	問題解決のしくみ(その3)	「問題解決」の問題設定について引き続き学びます。
第4講	メディアとは何か(その2)	あまりにも私たちの生活に密着しているメディア。その基本的な性格について学びます。	第12講	ゼミ論執筆へ向けて	ゼミ論文を書くに当たっての心構え、テーマの選び方、注意点などを指摘します。
第5講	メディア・リテラシーとは何か	メディア・リテラシーとはそもそも何か、その基本について学びます。	第13講	新聞とのつきあい	テレビとならび一番身近なメディアは新聞。その歴史、功罪、役割、これから可能性を探ります。
第6講	メディア・リテラシーとは何か(その2)	引き続きメディア・リテラシーの特徴について学びます。	第14講	新聞とのつきあい(その2)	毎朝配される新聞は、テレビと同様物心が付く頃にはもう家庭の一部でしょう。その役割をさらに詳しく学びます。
第7講	私たちとメディア	私たちはメディアとどのようなつきあいをしてきたでしょう。「自分のメディアとのつきあい史」を振り返ります。	第15講	ゼミ論文仮テーマ発表	ゼミ論文の仮テーマを発表し、ゼミメンバーの質疑応答をします。
第8講	私たちとメディア(その2)	引き続き「メディアとのつきあい史」を考えます。現在の自分の形成にメディアはどのような影響を及ぼしたのかについて口頭発表を行います。中間課題提出	定期試験		期末課題の提出を期末試験に代えます。
評価方法		中間課題 30% 期末課題 50% 口頭発表など 20%			
使用する教科書（必ず購入してください）				参考文献	
授業中に指示します					